

栃身連

第158号

発行所

一般財団法人

栃木県身体障害者福祉会連合会

宇都宮市若草1丁目10番6号

とちぎ福祉プラザ2階

発行人 前田 則隆

TEL 028-624-8408

FAX 028-624-8418

第31回

栃木県民福祉のつどい

令和7年8月21日／宇都宮市文化会館大ホール

県の社会福祉の発展に功績のあった福祉関係者を表彰し、感謝の意を表し、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするため開催されました。本年度は表彰対象者の参加をもって式典が行われました。



県民福祉宣言

私たちは、ふるさと「とちぎ」で暮らす全ての人々が、一人ひとり自立し、お互いに支え合い、助け合いながら、安心して、また、誇りを持って住み続けることのできる地域社会づくりを目指し、

「子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進」「人と地域の輪を広げ、ひとり親家庭への自立支援の推進」「高齢者の健康と生きがいづくりの推進」「障害者の自立支援と社会参加の促進」「共同募金やボランティアなどの民間福祉活動への参加と協力の推進」に積極的に取り組みます。

そして、ここに集う私たちをはじめ、本県の福祉関係者が一致協力して、県民の福祉に対する認識と理解を一層深め、ともに生きる豊かな福祉社会の実現に努めることを宣言します。

栃木県知事表彰

障害者自立更生者

宇都宮市

石崎

勤

栃木市

山野井

兵助

栃木市

筑井

君子

栃木市

野澤

ひろ子

栃木市

二本柳

勝夫

障害者支援功労者

日光市

鷹嘴

平一郎

栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰

自立更生者

宇都宮市

小口

守

宇都宮市

梅園

裕之

更生援護功労者

栃木市

木村

洋子

真岡市

松本

良一

真岡市

和田

光穂



以上、障害者関係の受賞者11名の皆様、おめでとうございます。



(敬称略)

令和7年度
日身連関東甲信越ブロック
身体障害者相談員研修会

令和7年8月1日
ライトキューブ宇都宮

◆講演Ⅰ

「チャレンジド（障害者・難病者）の
相談支援業務で心がけていること」

◆講師

認定NPO法人

チャレンジド・コミュニティ

理事長 金井 光一氏

◆講演Ⅱ

「みんなで高める防災力
～高齢者・障害者・女性の視点から～」

◆講師

NPO法人栃木県防災士会

副理事長 伊東 紀枝氏

身体障害者相談員が、地域で生活している
身体障害者の相談支援活動を行っていくための
知識向上を目的とした研修会です。関東甲
信越ブロックの各都県市で毎年開催されてお
り、本年度は、栃木県の当団体が主管となり
開催いたしました。

至らぬ点があったかと存じますが、猛暑の
中、遠方よりたくさんの方々にご参加いた
だきまして感謝申し上げます。

栃木県の参加者より感想を寄せていただき
ましたので紹介いたします。

栃木市 齋藤 明

10時に家を出て、参加者二人を乗せて会場
に向かいました。JR宇都宮駅東口にあるラ
イトキューブ宇都宮は初めてだったので、車
ではわかりずらかったですが、開会前には到
着できました。

栃木県の前田会長の挨拶から始まり、関東
甲信越ブロック協議会の種村会長、障害福
祉課の小川課長が挨拶してくださいました。

講演Ⅰの金井講師は、北海道札幌市出身で
難病の骨形成不全症でありながら、大学院ま
で出て会社に入り能力を高めてから、有限会
社を作り、そしてNPO法人チャレンジド・
コミュニティ設立と、自分たちのお手本の様
な人でした。

また、仕事も積極的に挑戦してこられ、こ
れからの障害者福祉サービス事業、相談員支
援員の事など、これからどの様にして相談支
援を行なっていくのか、また地域共生社会と
向き合うために対応できる福祉人材の教育に
も取り組んでくれています。

講演Ⅱでは、栃木県防災士会副理事長の伊
東講師から、「いつ起きるかわからない災
害」様々な人が暮らす地域で災害が起きた
ら、何ができ、またみんなで助け合いなが
ら、高齢者や障害者などを守っていけるかな
ど、わかりやすく解説していただきました。

栃木市では相談員制度がなくなり、市役所
の福祉課が窓口になったので、自分たちの活
動が少なくなってしまうかもしれませんが、これか
らも都合のつくかぎり研修会には参加していこ
うと思いました。

他県からも多数参加していただき良かった
と思います。



下野市 井川 雄二

宇都宮の夏は、毎日のように夕立があり、以前から「雷都」(らいと)と呼ばれていた。この地の人々は、時として災害を招くこの雷雨を怖がりながらも、農作物に恵みをもたらすものとして畏敬の念を持っている。

2年前に開業したLRT(名称宇都宮ライトレール)は、JR宇都宮駅東口と芳賀町の工業団地を結ぶ約14キロメートルの路面電車である。名称の中の「ライト」は、雷都(ライト)に韻を踏み、また、ダークグレーと黄色2色のボディーカラーは、それぞれ「雷雲」と「稲妻」をイメージしているという。

今年度の相談員研修会は、このLRTの発着場に隣接するライトキューブ宇都宮を会場として行われた。私は、栃木県在住者であるが、今だLRTを利用したことがない。発着場を乗り降りする人の姿を間近に見ながら会場に向かった。

研修会の主な内容は、障害者への就労支援事業を行っている特定非営利活動法人の理事長のお話と、障害者の視点からみた防災についてのお話であった。

自らも障害者である講師から、施設利用者やその家族から相談を受ける際に心がけている点を分かり易くお話しいただいた。特に、相談者に対する基本的な態度として、相手の

話を徹底的に傾聴し寄り添うこと、その上で、問題解決に向けて「手を引っ張る」のではなく、自らが動き出すように「背中を押してあげる」ことが大事である、というところが印象に残っている。私は、まだ相談員としての経験がないが、これらのことは、相談業務に限らず、日ごろの福祉社会活動の中で仲間と交流するときの大切な心構えでもある、などと思いつながり拝聴していた。

次に、障害者の防災に関して、温暖化の影響による様々な災害が全国各地に多発している現状では、もはや安全な場所などはないとさえ言えるだろう。実際に災害となれば、私たち障害者は、自分の障害に応じた防災用品も準備しておくことが大切である。例えば避難したとしても、災害当初は周りの援助を期待できないと思うべきである。日ごろから居住する地域の自治会や防災会などに、避難等に関する地域の自治会や防災会などに、避難等に関する情報の提供を積極的に発信していく必要がある。さらに、障害者団体としても会員の声を集約して、対応する自治体等にこれまで以上に働きかけていくことも、大事な業務となるのではないだろうか。

最後に、猛暑が続く中ご講義をいただいた講師の先生、県外からおこしいただいた仲間の皆さん、そして研修会の準備に協力していただいた関係者の皆さんに感謝したい。

足利市 植木 紀代子

今日も日本や他国の災害のニュースが流れる。冷静に対応するには、日ごろの準備が欠かせないとは思いつつも、3・11の映像に自然の恐ろしさ、悲しさがこみ上げてくる。感染症の拡大による避難所への不安、ハザードマップの確認や家族の連絡ルール、複数の避難先の確認等々、改めて考えさせられた。そして、助けてもらうのを待つのではなく、「自助・共助・公助」が大切であると思った。

資料で配布された「ライフラインがとまっても、備えがあれば作れるレシピ集」。もしものときでなくても作ってみようかと思いつながらページを繰った。

講演Ⅱでは、スクリーンの映像を通しての説明だったが、視覚に障害のある方々には配慮がなかったように感じた。

相談員歴は長いけれど、実際に相談を受けることは少なくなった。でもこのような研修会があるのは有難いことだと思う。



J R ジパンング倶楽部特別会員

身体障害者手帳では割引とならないJ R線の特急券など、「片道・往復・連続」で201km以上ご利用の場合に割引となるミドルからシニアの方を対象とした購入割引制度です。

ただし、新幹線の「のぞみ」や「みずほ」などの切符や割引にならない期間があります。

加入資格	身体障害者手帳をお持ちの方 男性60歳以上、女性55歳以上
年会費	1,400円
新規申込	初回3回使用までは2割引 4回目以降は3割引になります。 入会申込書と身体障害者手帳のコピーは郵送、年会費は銀行振込でお願いしています。 詳細はお問い合わせください。
更新申込	継続の方は引き続き3割引 お手続きは年会費のお振込のみで完了です。 住所や電話番号が変更の場合はご連絡ください。

☎ 栃木県身体障害者福祉会連合会

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6
(TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418
(E-mail) toti-sin@juno.ocn.ne.jp
休業日／日曜日・月曜日・祝日

栃木県障害者福祉ガイド2025年度版

栃木県公式ホームページにPDFファイルが掲載されていますのでご活用ください。

栃木県障害者福祉ガイド 

赤い羽根共同募金

「共同募金運動」の期間は例年10月1日～3月31日としていますが、お近くの各市町社会福祉協議会においても年間を通じて募金を受け付けています。

この機関紙は
赤い羽根共同募金配分金
により発行しています



肢体不自由者行動訓練事業参加者募集

身体に障害のある方の社会見学を実施します。

晴れた日には富士山を望める

「バスで行く清水港遊覧船と日本平夢テラス見学」

【実施日】令和7年10月20日(月)

【出発地】とちぎ福祉プラザ

【出発時間】午前6時

【参加費】14,000円(バス代、昼食代、乗船料他)

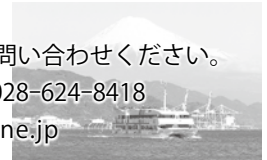
【申込締切】令和7年9月30日(火)

- 日本三大美港のひとつに数えられる風光明媚な清水港の遊覧船を楽しみましょう。
運が良ければ、清水港に棲みついている野生のイルカに出会えるかもしれません。
- 2018年にオープンした「日本平夢テラス」は、日本平の歴史や文化を知ることができる展示スペースや360度の美しい眺望が楽しめる屋外展望回廊があります。

お申込み、詳細は当会までお問い合わせください。

(TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418

(E-mail) toti-sin@juno.ocn.ne.jp



健康保険証の切り替え

令和7年7月31日以降、従来の健康保険証は新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とするしくみに移行しています。

▶マイナ保険証をお持ちでない方には、申請によらず資格確認書が交付されます。

▶来年夏までの暫定措置として、75歳以上の後期高齢者には、マイナ保険証の有無によらず全員に資格確認書を交付することとしています。

▶74歳以下の方で、マイナ保険証をお使いいただくのが難しい方(65歳以上の高齢者や障害者などの要配慮者の方)の場合、加入している医療保険者に申請をすれば資格確認書の交付を受けることができます。親族等の法廷代理人や介助者等による代理申請も可能です。

お手元の健康保険証の有効期限をご確認ください。健康保険証の有効期限が切れたあとは、マイナ保険証が資格確認書で医療機関・薬局にて受付をしてください。

マイナンバー総合フリーダイヤル(厚生労働省)

0120-95-0178

平日: 9時30分～20時00分

土日祝: 9時30分～17時30分